

令和3年度 自己評価書・学校関係評価書

1 河内こども園の教育保育目標

○教育・保育目標

しなやかな心と体で生き生きと生活する子どもを育てる

○めざす子ども像

「考えてやりぬこうとする子ども」(思考力・表現力・判断力・想像力・粘り強さ・挑戦力)

「生き生きと明るい子ども」(元気な体・豊かな心・生活の自立・主体性)

「美しくあたたかい心の子ども」(思いやり・慈しみ・協同・協力・社会性)

2 本年度の重点目標 (課題)

本年度の研究テーマ (重点的に取り組むこと)

「おどろき！ときめき！ひらめき！が溢れる環境づくり～感性と表現力を豊かに～」

1 心も体も弾ませて意欲的に環境 (人・物・事柄) に関わることができる保育

子どもたちが「なんで？」と驚いたり「どうなってるの？」ときめいたり「なるほどそういうことか！」とひらめいたり絶えず心を動かしながら関わることができる環境を構成しながら、自ら選んで遊ぶ時間の活動の充実を図り、友達とのびのび、生き生きと安心して活動できる園を目指します。

2 感性と表現力を豊かにする体験と言葉の獲得

日本語のきれいな響きとリズムを感じ取ってほしいという願いから「気持ちの良い挨拶・返事」さらに「伝わる言葉・わかる言葉・美しい言葉のやりとり」など職員がモデルになって取り組みます。そして、子どもの内面を理解しながら関わり思いを言葉で伝え合えるように日々の保育を大切にします。また、「絵本の読み語り」と「わらべ歌や童謡を歌う」時間を日課とし、感性や表現力を高める実践を重ね、笑顔が溢れる園を目指します。

3 生活リズム・基本的生活習慣の確立を保護者と共に

子どもの情緒の安定を図り、就学に向けて基本的生活習慣の確立のため相談や、情報提供など園と家庭とが協力する園を目指します。

3 本年度 河内こども園 学校評価（自己・学校関係者）評価書

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員評価)
教育課程・指導計画	職員が共通理解し、指導の重点や研究テーマに沿った保育に取り組んでいる	3	4
行 事	コロナ禍で中止することもあったが、園児の育ちにポイントをあて行事の見直しを行うことができた	3	4
組織・運営	園の課題を明確にした経営計画をベースに同僚性を生かした組織作り・園運営をしている	3	4
学級経営	寄り添い内面理解をすることを保育の基本とし温かい人間関係を構築している	4	4
特別支援教育	一人一人の困り感を理解しながら援助や環境作りをしている	3	4
安全管理・保健指導	避難訓練や安全点検を毎月行い職員間で安全に気をつけるようにした。また、情緒の安定のためメディアコントロールや絵本など家族時間を大切にする取組を推奨している	3	4
研修（資質向上）	園外の研修に参加し復命をすることはできたが園内で研修を深める時間をもつことができにくかった	2	2
情報提供・保護者・ 地域との連携	保護者と日常的な情報交換に加え必要に応じて個別面談を行い連携を図っている	3	4
小学校との接続・連携	園と小学校職員同士が話し合いの場をもち、園児・児童が互いに学ぶことのできる交流の場を設けている	3	4
子育て支援	日々の保育の出来事や参考になることを保護者に伝え、保護者が必要とした時に安心して相談のできる関係づくりに努めている	4	4
食育の推進（給食）	野菜栽培を通して、育てることや食すことの喜びと美味しく食べられることへの感謝の気持ちがもてるようにしている	4	4

食事の提供（調理）	調理担当と園児のコミュニケーションを図ることでより美味しく食べることができるようにしている	4	4
-----------	---	---	---

4 その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員)
信頼される職員	いつも明るい挨拶と笑顔の対応を心がけている	4	4
健康な心と体	職員同士が思いやり、周りを見てできることを進んでする協力体制ができている	4	4

5 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

こども達の様子を1年間行事ごとに評価委員の方に見ていただいていたので、こども達の様子もわかってもらっていた。保護者の方もアンケートの結果では概ね良い結果をいただいた。

日々こども達のために職員が協力しクラスを超えて園全体でこどもの教育・保育に携わっている様子がうかがえると言っていた。また、こども達の様子も、のびのびと遊んでいること、言葉で思いや考えを伝えようとしていること、困難なことにも挑戦しようとする事、友だちにも優しく寄り添えることなど心の育ちがあると評価していただいた。

地域に散歩に出かけ、地域の人と挨拶や話をする事もあった。会話の中で、散歩コースを広げていける情報もいただいた。こども達も園外に出かけ、河内の良いところ、楽しい場所、お気に入りの場所を見つけることができた。その河内の良さを替え歌にし年長児は発表会で歌った。

園での活動の多くを高く評価していただいた。

しかし、今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け行事の見直ししなければならなかった。特に、小学校との交流は中止することもあり残念であった。職員同士での引き継ぎや、参観が昨年よりはできたので、来年度もより職員間での交流もしていきたい。今の体制では、園内研修の時間とやり方の工夫をしなければ充実した研修はできないと思い今後の課題である。

6 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

保育者も園児も少人数だからこそその保育の利点を引き続き行いながら、少人数だから不利なところの改善をしていかなければならないと思っている。

各年齢ごとの集団遊びができないというところでは、他園との交流会を計画している。新型コロナウイルス感染症が拡大していたので実現はできなかったが、来年度は他園に出かけて行いたい。

職員の充実した園内研修では、限られた時間内に研修ができるよう時間と人の確保が必要になってくる。

小学校交流は園児だけでなくより職員同士もお互いの様子を見合える場になればと思う。そのためにも、小学校との交流の窓口を決めて進めていけるようにしたい。